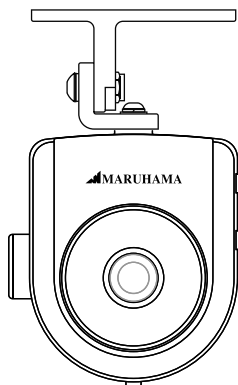


# RoadView Aries

防犯・車両事故記録カメラ ロードビューアリエス DR-850RV

## 取扱説明書



DR-850RVをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分理解された上で、ご使用くださるようお願いいたします。  
また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

**本機は DC12V/24V 車（マイナスアース）専用です**

## 目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 主な特長	3
3. 製品の構成	4
4. 各部の名称と機能	5
5. 接続、取付方法	6
6. 記録時間の目安	9
7. 使用方法	10
8. 故障とお考えになる前に	40
9. 主な仕様	40

※映像を再生するには、別途パソコンが必要となります。

※パソコンの動作環境：音声再生付でSDHCカードが使用でき、Windows XP/Vistaがインストールされたパソコン。

CPU Celeron 2GHz以上

メモリ 512MB以上

画面解像度 XGA(1024×768ピクセル)以上

※ご使用になるパソコンによってはカードリーダーが必要になる場合があります。  
その場合には接続可能なカードリーダーを別途ご購入ください。

※Microsoft、Windows Vista、Windows XP、Windows Media Playerは、米国 Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。  
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。







※Google Map(グーグルマップ)は Google Inc. の登録商標です。

# — 1. 安全についてのお願いとご注意 —

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を、“警告”として掲げています。次に、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の故障や損傷につながるおそれがある事項を“注意”として掲げています。また、“機能上の制約”についても説明しています。






## ⚠ 警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)



-  ■ 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。  
本機は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。  
また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。
-  ■ 本機を濡らさないでください。  
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。
-  ■ 車を運転中に本機を操作しないでください。  
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因となります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心掛けてください。
-  ■ ケースは絶対にあけないでください。  
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■ 発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。  
これらの異常を検出した場合には、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
- 

## ⚠ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)

-  ■ 衝撃や強い振動を加えないでください。  
衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■ 動作範囲内の温度条件下でご使用ください。  
本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外でご使用になりますと故障の原因になります。
-  ■ 高温時の取り扱いにご注意ください。  
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。
-  ■ ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。  
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。
- 

## 機能上の制約

-  ■ 日本国内で使用してください。  
本機の仕様は日本国内となっています。
-  ■ 本製品は道路運送車両法・保安基準第29条の前面ガラス装着規制から除外指定商品となっています。  
但し、設置場所はフロントウィンドウの上端から上下方向に1/5以内の場所に限ります。
- 映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合による損害、本機の故障や本機を使用することによって生じた損害については弊社は一切の責任を負いません。
- 本機は犯罪・事故の検証に役立つことも目的の一つとした製品ですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。

## 2. 主な特長

### ■連続撮影機能搭載

連続撮影ですので、車内防犯カメラとしてもドライブレコーダーとしても利用できます。設定によりトリガ発生時（衝撃発生または手動）のみの撮影もできます。

※記録時間は画像サイズ、SDカードの容量等により変わります。  
(P9参照)

### ■音声録音機能

映像だけでなく、音声も記録できますので、よりリアルに状況を再現できます。

### ■インストール不要

映像の確認はパソコンで簡単にできます。ソフトのインストールは不要です。また、ビデオ出力付ですので、車載モニターTV等で記録映像をその場で再生することができます。

※AVケーブルは付属されていません。別途、市販のAVケーブルをお買い求めください。



### ■衝撃発生時や手動によるポイントを再生

衝撃発生時や手動によるポイントを記録でき、そのポイントを簡単に呼び出して再生することができます。

### ■取付簡単

カー電源コードをシガーライターソケットに差し込み、本体を両面テープでフロントガラスに貼るだけです。

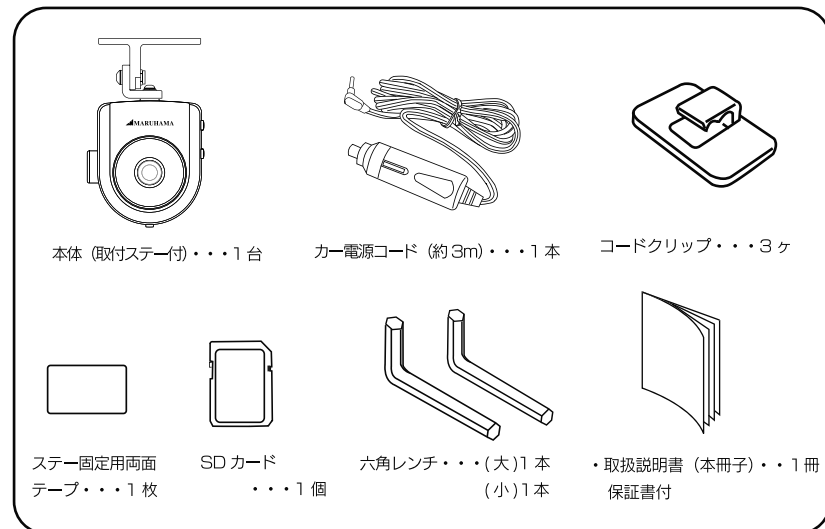
### ■GPSユニット接続可能

別売のGPSユニットを接続すれば、Google Mapに走行軌跡を表示させたり、緯度・経度・速度・進行方向も表示できます。

また、時計合わせが自動的に行えます。

## 3. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。  
内容をご確認ください。



※市販のSDカードをご購入する場合。

SDカードによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。

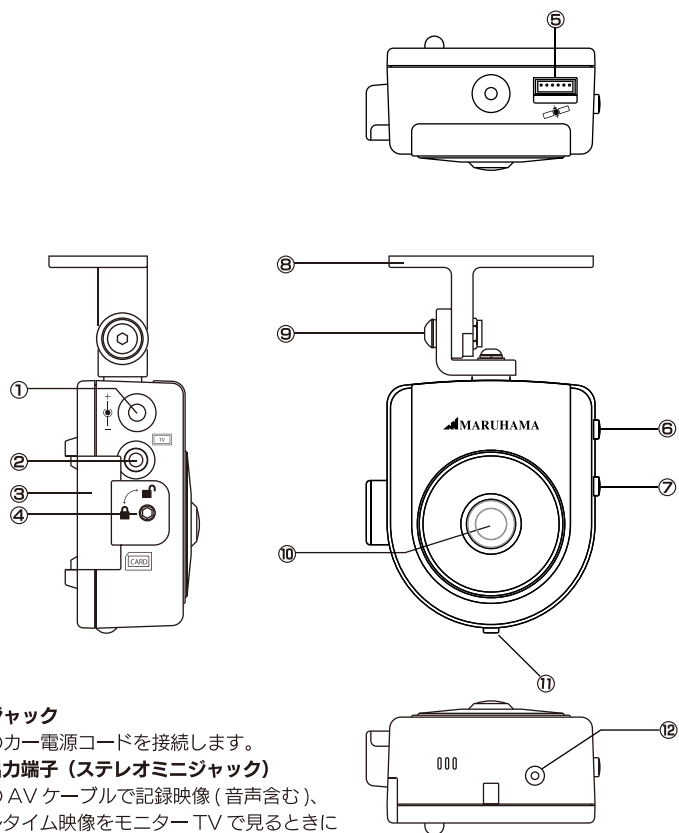
※車載モニター等で映像を見る場合は、市販のAVケーブルを別途、お買い求めください。

※別売品：GPSユニット：品番 DR-AT1

ACアダプター：品番 RT-A

販売店または弊社サービスセンターへお問い合わせください。

## 4.各部の名称と機能



### ①電源ジャック

付属のカー電源コードを接続します。

### ②AV出力端子 (ステレオミニジャック)

市販のAVケーブルで記録映像(音声含む)、リアルタイム映像をモニターTVで見るときに接続します。

### ③SDカード蓋

### ④ロック穴

付属の六角レンチでSDカード蓋のロック、解除を行います。

### ⑤GPSユニット接続端子

別売のGPSユニットを使用する場合に接続します。

### ⑥電源 / 手動ポイント設定ボタン (P/b)

電源のON/OFF、手動撮影、その他各種操作設定。

### ⑦MODEボタン (4/▶)

アラーム音のON/OFF設定、その他各種操作設定

### ⑧取付ステー

付属の両面テープを貼り、車のフロントガラスに取り付けます。

### ⑨取付ステー固定ねじ

### ⑩カメラレンズ

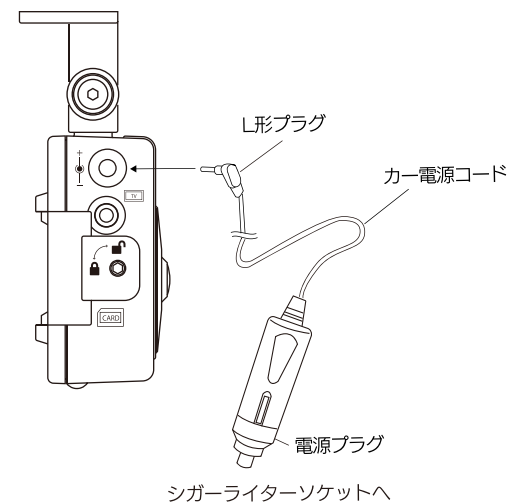
### ⑪動作ランプ

### ⑫マイク

## 5.接続、取付方法

### 1. 接続方法

- ①付属のカー電源コードのL型プラグを本体の電源ジャックに差し込みます。
- ②カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。



### ご注意

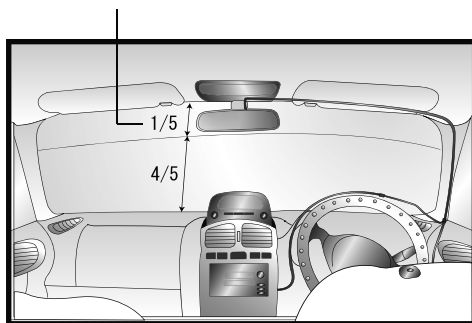
- ・シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除してから取り付けてください。
- ・カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

## 2. 本体の取付方法

### ①取付上のご注意

- 車を平らで安全な場所に駐車して取付をしてください。
- 配線後のコードが運転の支障にならないようにコードクリップで固定します。
- フロントガラスに取り付けてください。但し、道路運送車両法・保安基準に適合するように取り付けてください。
- 点検シールや検査標章などと重ならないようにしてください。
- 両面テープで貼り付ける際、必ずガラス面をしっかりと拭いてから行ってください。また、最初にセロテープなどで仮止めをしてから貼ることをおすすめします。

フロントウィンドウの上端から上下方向に 1/5 以内の場所に取り付けてください。



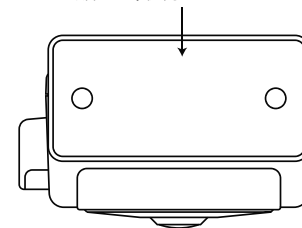
- ドライブレコーダーとして使用する場合は、前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。ルームミラーは運転者または同乗者が操作することがあるため、ルームミラーを操作する時に邪魔にならない位置に取り付けてください。
- 車内防犯用として使用する場合は、車内に向けて取り付けてください。
- カーナビゲーション、ETC など電波を受信する機器から離して取り付けてください。

### メモ

取り付けをする場合P16のリアルタイム映像でモニターTVを確認しながら作業を行うと実際の視野がわかり便利です。

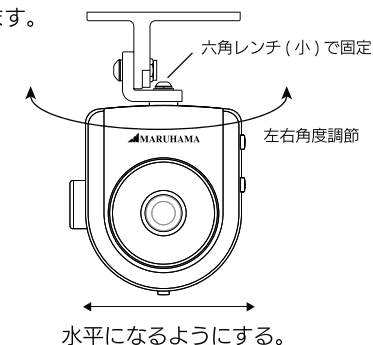
### ②本体の取付ステーに付属の両面テープを貼り付けます。

両面テープを貼る（取付ステーのくぼみに合わせて貼ってください）

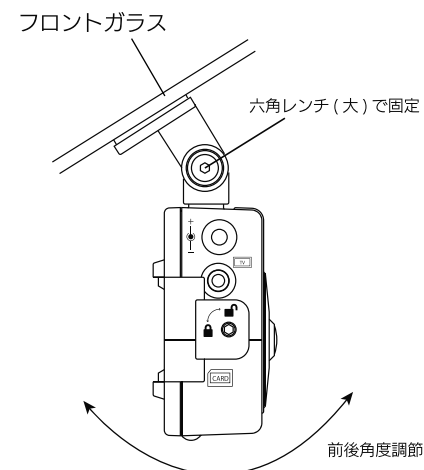


### ③両面テープのもう一方の面をガラスに貼り付けます。

- ドライブレコーダーとして使用する場合は、車両の中央部に合わせ、レンズを進行方向に向けます。
- 車内撮影の場合は、適当な場所に合わせます。
- 水平になるようにガラスに密着させます。



### ④前後角度、左右角度を調節します。



### ⑤六角レンチでしっかりと固定します。

- 前後角度は六角レンチ(大)で固定します。
- 左右角度は六角レンチ(小)で固定します。

## 6.記録時間の目安

記録時間はSDカードの容量、画像サイズ、フレームレートにより変わります。市販のSDカードをご購入の際、下表を参考にしてください。

### 1.連続撮影をする場合

※記録時間(参考値)

設定(PCで行う)		使用SDカード容量					
画像サイズ	フレームレート	1GB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
QVGA	2fps	7.6時間	14.8時間	1.2日	2.4日	5日	10日
	5fps	4.5時間	8.8時間	17.4時間	1.4日	3日	6日
	10fps	2.7時間	5.3時間	10.4時間	20.9時間	1.8日	3.6日
	15fps	2時間	3.9時間	7.7時間	15.5時間	1.3日	2.7日
VGA	2fps	3.7時間	7.2時間	13.8時間	1日	2.4日	4.9日
	5fps	1.7時間	3.4時間	6.5時間	13時間	1日	2.3日
	10fps	55分	1.8時間	3.5時間	6.9時間	14.7時間	1.2日
	15fps	35分	1.2時間	2.4時間	4.8時間	10時間	20.9時間

- ・画像サイズ、フレームレートはビューア画面の「撮影設定」で変更できます。
- ・SDカードの容量は最大32GBです。

### 2.トリガ撮影のみをする場合

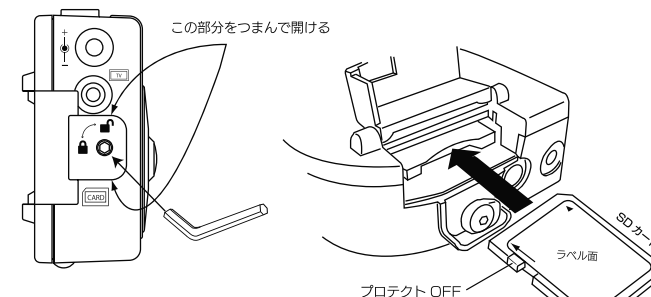
トリガ撮影（衝撃発生または手動時の記録）のみで使用する場合はSDカードの容量は512MB以上をご使用ください。

## 7.使用方法

### 電源を入れる/時間設定

#### 1.SDカードを本体に差し込みます

①SDカード蓋を開けます。



②SDカードのライトプロテクトはOFFにしてください。

SDカードを本体のカード装着部に“カチッ”と音がするまで挿入します。このときカードの向きに注意してください。また、カードを抜く場合も同様に“カチッ”と音がするまで押してから引き抜いてください。

③SDカード蓋を閉めます。

ロックするには、カード蓋の六角穴に合わせレンチ(大)を差し込み、マークの方向に止まるまで回転し蓋をロックします。この時、無理に差し込んだり強い力を加えないでください。

注)SDカード蓋が開いた状態では動作しません。

#### 2.電源を入れます

車のエンジンをかけると本体の電源が自動的にONになります。

このとき、SDカードが挿入されていないと“ピー”とアラーム音が約1秒鳴り、ランプが橙で約5秒速い点滅をします。

#### 3.SDカードの初期化

未使用のSDカードを挿入するとSDカードの初期化が自動開始します。

このとき、本体のランプが緑、橙交互に点灯します。数秒すると初期化は終了し、ランプは橙の点灯に変わります。

#### ご注意

・SDカードに異常があると初期化ができません。この場合“ピー”とアラーム音が約10秒鳴りつづき、ランプが橙で速い点滅をします。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

## 4.時刻の設定

### 【時計の確認】

ご使用になる前に本機の内部時計を確認してください。確認方法例としては、正しくセットされた時計を実際に映して、パソコンのビューア画面の時刻と確認するか、P 25 のマークポイント手動設定時の時刻で確認する方法等があります。

### ご注意

- 工場出荷時に時計合わせをしておりますが、長時間1回も電源が入らないと、内蔵のバックアップ電池が消耗し、正しい時刻が得られない場合がありますので、ご購入後はテスト撮影を行い時刻が正しいか確認してください。時刻のズレが生じた場合は、以下の時刻設定を行ってください。

SD カードを本体から抜き、お手持ちのパソコンに挿入します。

このときカードの向きに注意してください。

(1)パソコンがSD カードを検出すると次の画面が出ます。



“フォルダを開いてファイルを表示する。 エクスプローラーを使用” を選択して “OK” ボタンをクリックします。

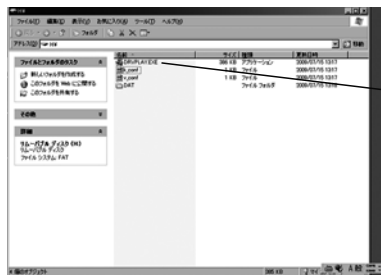
### ご注意

- 上記画面が出ない場合は “マイコンピュータ” をクリックしてSDカードが挿入されているドライブをクリックしてください。

(2)下記画面が出ます。

“DRVPLAY” をダブルクリックします。

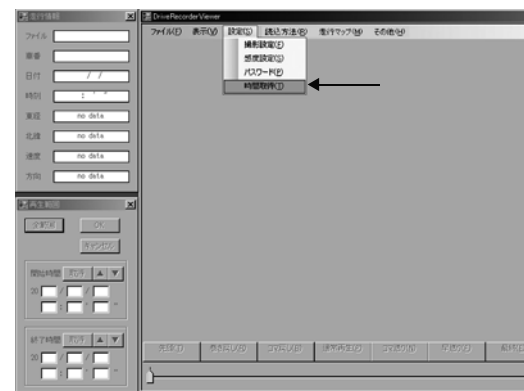
(パソコンの設定によって、表示画面が異なる場合があります。また、DRVPLAY.EXE となる場合があります)



ダブルクリック

(3)ビューア画面が出ます。

下記のビューア画面が出たら、[設定] [時間取得 (T)] を選択します。

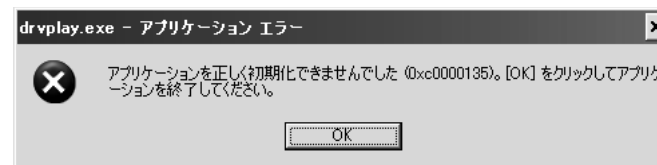


### ご注意

- モニタ最低解像度は1024×768以上です。
- パソコンによっては画面が出るまで少し時間がかかる場合があります。

## 重要！

- パソコンによっては下記のエラー画面が出る場合があります。その場合は、次頁の “エラー画面が出る場合は” を参照していただき「.NET Framework」のインストールをしてください。



(エラー画面の一例)

### ご注意

- インストールする場合はインターネットの接続が必要です。尚、接続料金などの通信費はお客様ご負担となります。
- インターネットを接続していない場合は弊社サービスセンターへお問い合わせください。

## エラー画面が出る場合は

- DRVPLAY.EXEが動作する上で「.NET Framework」が必要となります。「Windows Vista」以外のWindowsをお使いの方で「アプリケーションエラー」が表示されましたら、以下の手順で「.NET Framework」のインストールを行ってください。

### ■ Microsoft のWebからインストールしてください。

- ① <http://www.microsoft.com/japan/msdn/netframework/downloads/default.aspx> にアクセスしてください。
- ② 「.NET Framwork2.0」再頒布可能パッケージをクリックしてください。



- ③ ダウンロードをクリックしてください。



- ④ 「実行」をクリックしてください。



- ⑤ 「同意する」にチェックを入れてインストールをクリックします。





#### (4)パソコンのシステム時間を取得します。

パソコンのシステム時間が正常に取得されると下記画面が出ます。

OK ボタンをクリックしてください。



#### (5)時刻を合わせる。

パソコンから SD カードを抜き、本体に挿入します。

ラジオ等の次の**毎時の時報 (XX 時 00 分 00 秒)** に合わせ、本体の“電源 (P/φ)” ボタンと“MODE(◀▶)” ボタンを同時に短く押します。このとき、アラーム音が“ピー”と短く鳴ります。

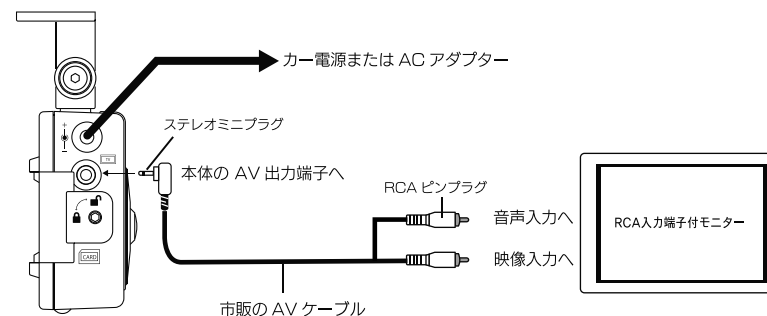
#### メモ

- 時計の精度は月差数十秒ですが、定期的に時報等に合わせ、電源(P/φ)、MODE(◀▶)ボタンの同時押しで正しい時刻に設定することをおすすめします。
- 別売のGPSユニットを接続すれば、時刻合わせは自動的に行われます。

## TV画面での時間設定の方法

### 1.リアルタイム映像にします

- (1)本体から SD カードを取り出します。
- (2)市販の AV ケーブルを本体とモニター TV に接続します。



#### ご注意

- 本製品のAV端子は先端が映像となっています。モニターTV側と一致するように接続してください。
- AVケーブルは付属されていません。別途、市販のケーブルをお求めください。その際、本製品に接続する端子は必ずステレオミニプラグであることをご確認ください。
- 市販AVケーブルのモニター接続側の端子形状は基本的にRCAピンプラグになっています。お手持ちのモニターがRCAピンジャックでない場合は市販の変換プラグ等で対応してください。
- 接続するモニターの形状が合わない場合は、モニターのメーカー様へお問い合わせください。
- 家庭用モニターで確認する場合は別売のACアダプター：RT-Aをお求めください。

### (3)再生モードにします。

本体の“MODE(◀▶)” ボタンを長押しすると“ピー”とアラームが鳴り再生モードになります。再生モード中はランプが黄色で点滅します。

### (4)映像が常時、モニター TV に映し出されます。

ただし、音声は出力されません。

#### ご注意

- SDカードが装着されているとリアルタイム映像になりません。
- リアルタイム映像中は記録映像を保存することはできません。

## 2.時刻を合わせる

TV画面の右下に年、月、日、時、分、秒が表示されますので、順番に合わせます。

- (1)電源 (P/O) ボタンを短く押す度に年、月、日、時、分、秒の順に数値が点滅します。変更したい場所を点滅させます。



※画像はイメージです。

- (2)MODE (M/▶) ボタンを短く押して時刻を合わせます。
- (3)時間設定を確定し、終了します。

電源 (P/O) ボタンと MODE (M/▶) ボタンを同時に短く押すと点滅が終わり時計がスタートします。

### メモ

- 時計表示が点滅していない時、“MODE (M/▶)” ボタンを短く押すと表示が画面のコーナーを順次移動します。見やすい場所に移動してください。

## 3.リアルタイム映像の終了

終了する場合は、MODE (M/▶) ボタンを長押しします。この時、“ピー”とアラームが鳴り撮影モードに戻ります。

## 撮影条件の設定

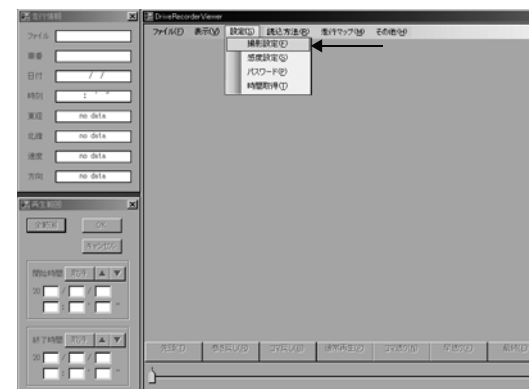
撮影モードを連続にするかトリガ発生時 (衝撃発生または手動) にするかを選択します。その他の条件も設定します。

### 1.SDカードをパソコンに装着する

SDカードを本体で初期化後、パソコンに装着してください。

### 2.ビューア画面にします

- (1)P11 “時刻の設定” と同様な操作を行い、ビューア画面にします。
- (2)下記のビューア画面が出たら、[設定] [撮影設定 (F)] を選択します。

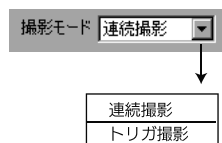


- (3)“撮影設定”画面が表示されます。

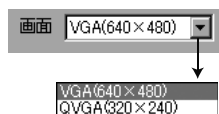


#### (4)撮影条件を設定します。

①撮影モード・・・連続撮影またはトリガ撮影を選択します。



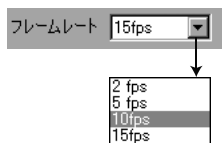
②画面・・・画面サイズの設定 注)トリガ撮影を選択した場合はVGA固定。変更できません。



画面サイズを選択します。  
VGAを選択するとフル画面で表示されますが、  
一巡時間は短くなります。

③フレームレート・・・1秒間の画像枚数の設定

注)トリガ撮影を選択した場合は15fps固定。  
変更できません。



フレームレートを選択します。  
大きな数値を選択すると画像の動きは滑らかですが、  
一巡時間は短くなります。

④SDカード・・・装着したSDカードの容量  
SDカードの容量が自動的に表示されます。

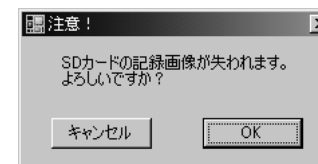
⑤一巡時間・・・設定条件により最大記録時間の目安を表示  
画面サイズ、フレームレート、SDカード  
の容量により記録できる時間が自動的に表示  
されます。一巡時間を超えた場合は最初の映像  
に上書きされます。

注)トリガ撮影を選択した場合は----と表示。  
一巡時間は表示されません。

#### (5)設定が完了したらOKボタンをクリックします。

##### ご注意

・撮影モード、画面サイズを変更してOKボタンを押すと下記の注意画面が  
でます。SDカードの記録画像が失われる場合がありますので、撮影モー  
ドや画面サイズの変更をする場合は変更前にSDカード内のデータを保存  
してください。(P38 SDカード上の映像の保存と消去参照)



## 映像の記録から確認までの流れ

### 1.映像の記録

#### 連続撮影の場合

- ・エンジンをかけると撮影を開始します。
- ・電源 (P/O) ボタンを長押しして OFF にすると撮影が終了します。エンジンを切った時も、OFF になります。

- ※撮影ファイルは1時間ごとに別のファイル名として保存されます。
- ※撮影モード中に SD カードを挿入すれば撮影開始、取り出せば撮影終了になります。
- ※電源 ON 時は必ず撮影モードになります。
- ※撮影モード中は動作ランプが橙色で点灯します。

#### トリガ撮影の場合

- ・エンジンをかけて電源を ON にします。

- ※一定以上の衝撃があると、映像を自動保存します。撮影中は本体のランプが橙で点滅します。
- ※手動録画する場合は電源 (P/O) ボタンを短く押してください。アラーム音が“ピッ”と鳴り、本体のランプが橙で点滅します。
- ※録画が終了すると、ランプの点滅が止まります。
- ※記録時間はトリガ発生前 10 秒と発生後 10 秒の計 20 秒です。
- 20 秒間の記録が一つのファイルとして保存されます。
- ※記録件数は衝撃トリガ、手動トリガ各々 10 件です。11 件目は 1 件目に上書きされます。

#### メモ

- ・SDカードが挿入されていない時に手動のトリガ撮影が発生すると“ピー”とアラーム音が約1秒鳴り、映像は記録されません。
- ・衝撃感度は変更することができます。(P32感度設定参照)
- ・特定のアラーム音は設定により変えることができます。(P37特定アラーム音のON/OFF設定参照)

### 2.映像の再生

SD カードを本体から抜き、お手持ちのパソコンに挿入します。  
このときカードの向きに注意してください。

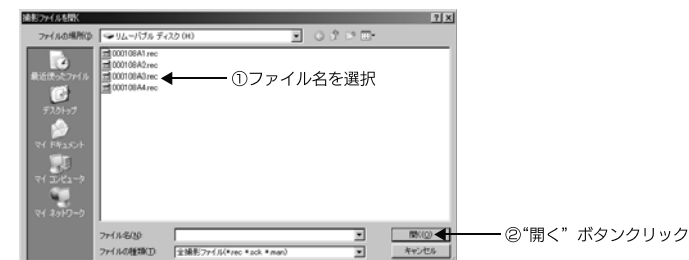
- (1)P11 “時刻の設定”と同様な操作を行い、ビューア画面にします。
- (2)下記のビューア画面が出たら、[ファイル][開く(O)]を選択します。



**ご注意** ・モニタ最低解像度は1024×768以上です。

#### (3)ファイルを開く

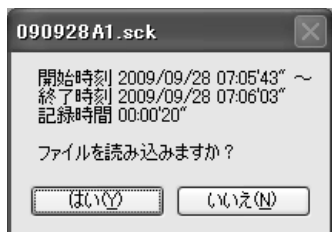
“ファイルを開く”画面が出たら、ファイル名を選択して“開く”ボタンをクリックしてください。



※連続撮影の場合はファイルの拡張子は .rec となります。  
 ※トリガ撮影の拡張子は衝撃トリガが .sck 手動トリガが .man となります。

**ご注意** ・SDカード上の映像ファイルはパソコンに保存されません。保存する場合はP38 SDカード上の映像の保存と消去を参照してください。

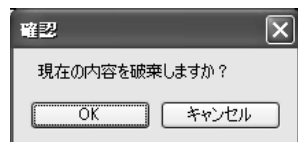
(4)下記画面が表示されます。“はい” をクリックしてください。



(5)再生画面が表示されます。

①操作ボタンで通常再生、早送り、停止、コマ送り、コマ戻し、巻き戻し等の操作を行うことができます。

・他の映像を再生したい場合は(2)から同様の操作を行ってください。このとき確認画面が表示されますので、“OK” をクリックしてください。



(※1)

③

②時間スライダ

①操作ボタン

注：画像はイメージです。

**ご注意** ・GPSデータ情報は別売のGPSユニットを接続しないと表示されません。(※1)  
 ・再生画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。その場合はP35の“読込方法”を参照して読込時間の短縮をしてください。

②時間スライダ

時間スライダを動かすことにより、撮影時間内を自由に移動することができます。

③再生範囲

・撮影された時間を変更して再生することができます。

呼び出したファイルの全映像



【開始時刻と終了時刻を入力して変更する場合】  
 開始時刻と終了時刻を任意に入力して変更  
 できます。年、月、日、時、分、秒を入力  
 してください。

このボタンで変更することもできます。

【時間スライダから変更する場合】

②時間スライダを任意に動かして開始時刻  
 と終了時刻を設定します。  
 開始したい映像でスライダを止め“取得”  
 ボタンをクリックすると自動的に開始時刻  
 が表示されます。同様に終了時刻も設定し  
 ます。

・変更が完了したら、“OK” ボタンをクリックしてください。

①操作ボタンで再生等を行ってください。

### 3.マークポイントの記録と再生

撮影モードが連続撮影の時、衝撃発生時や手動によるポイントを記録できます。記録件数は衝撃発生時、手動各々10件です。11件目は1件目に上書きされます。マークポイントを選択すれば、そのポイントの前後の映像を再生できます。トリガ撮影の場合はマークポイントの記録と再生はできません。

#### (1)マークポイントの記録

- 一定以上の衝撃があると、そのポイントが記録されます。この時、本体のランプが橙で点滅します。
- 電源 (P/Ⓛ) ボタンを短く押すと、手動によるポイント設定ができます。この時、本体のランプが橙で点滅し、アラーム音が“ピッ”と鳴ります。

#### メモ

- SDカードが挿入されていない時にマークポイントはできません。この時、ランプが橙で約5秒間、速い点滅をし“ピー”とアラーム音が約1秒鳴ります。
- 衝撃感度は変更することができます。(P32 感度設定参照)

#### (2)マークポイントの再生

①ビューア画面の [表示] [マーカー (M)] を選択します。



②“マークポイント”画面が表示されます。

- ポイントの前後の再生時間を設定します。前後、各々0～99秒まで変更できます。(初期値は10秒です)



- 手動設定または衝撃発生のポイントを選択します。NO. をクリックしてください。
- 最後に OK ボタンをクリックしてください。

③ビューア画面にポイントの映像が表示されます。操作ボタンで再生等を行ってください。

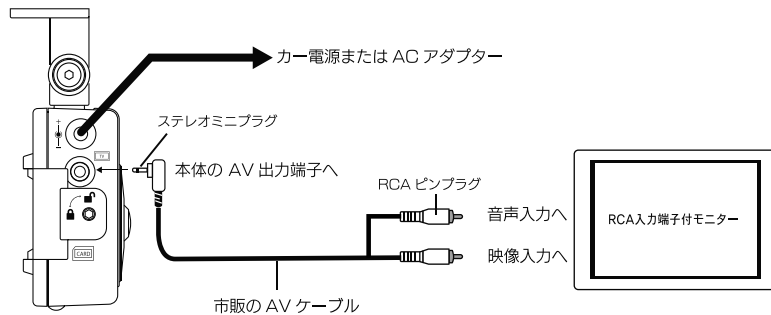
## 4.モニターTVでの再生

本製品はビデオ出力付ですので、ビデオ入力付の車載モニター等で最新の記録映像をその場で再生することができます。

### (1)再生モードにします。

本体の“MODE” ボタンを長押しすると“ピー”とアラームが鳴り再生モードになります。再生モード中はランプが黄色で点滅します。再生モードにすると記録撮影が終了します。

### (2)市販の AV ケーブルを本体とモニター TV に接続します。



#### ご注意

- 本製品のAV端子は先端が映像となっています。モニターTV側と一致するように接続してください。
- AVケーブルは付属されていません。別途、市販のケーブルをお求めください。その際、本製品に接続する端子は必ずステレオミニプラグであることをご確認ください。
- 市販AVケーブルのモニター接続側の端子形状は基本的にRCAピンプラグになっています。お手持ちのモニターがRCAピンジャックでない場合は市販の変換プラグ等で対応してください。
- 接続するモニターの形状が合わない場合は、モニターのメーカー様へお問い合わせください。
- 家庭用モニターで再生する場合は別売のACアダプター：RT-Aをお求めください。

### (3)映像の再生をします。

最新の記録映像が出ます。下記方法で再生できます。

- “電源” ボタンを短く押す度に記録映像の順方向の再生、停止ができます。
- 順方向の再生中に“電源” ボタンを長押し続けると順方向の早送りができます。
- “MODE” ボタンを短く押す度に記録映像の逆方向の再生、停止ができます。
- 逆方向の再生中に“MODE” ボタンを長押し続けると逆方向の早送りができます。
- 一つ前に保存された映像に切り換える場合は“電源” ボタンと“MODE” ボタンを同時に押してください。

#### ご注意

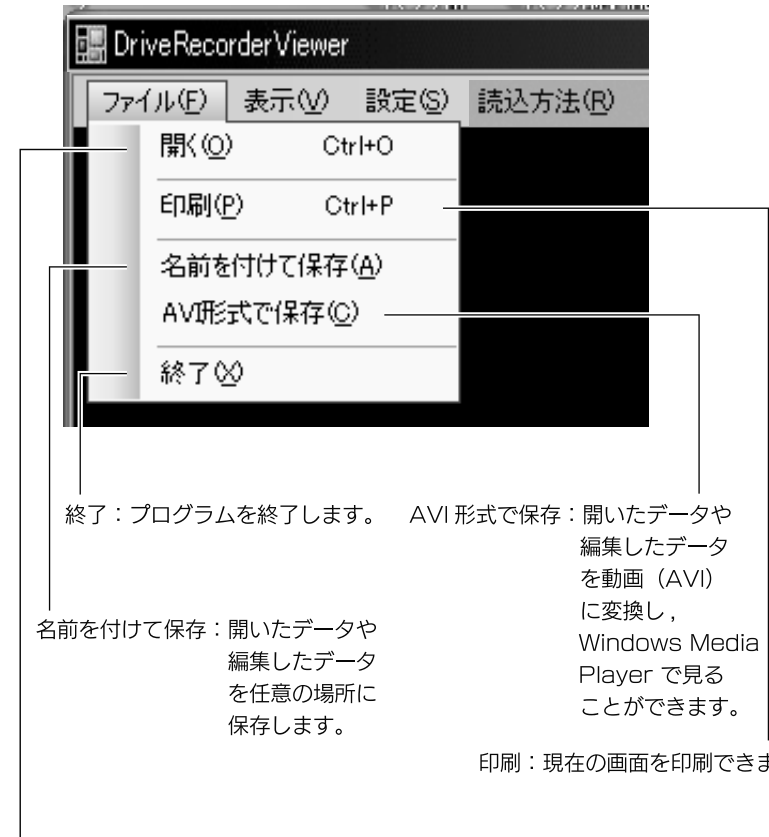
- SDカードが装着されていないと再生できません。
- 以前に保存された映像は再生できません。
- 本体にパスワードを設定するとモニターTVで映像の再生はできません。

### (4)再生の終了

終了する場合は再生映像が停止している状態で“MODE” ボタンを長押しします。“ピー”とアラーム音が鳴り撮影モードになります。また、電源を入れ直すことでも行えます。

## 5.メニューの説明

### (1)ファイル



終了：プログラムを終了します。 AVI形式で保存：開いたデータや編集したデータを動画（AVI）に変換し、Windows Media Player で見ることができます。

名前を付けて保存：開いたデータや編集したデータを任意の場所に保存します。

印刷：現在の画面を印刷できます。

開く：保存された映像データを開きます。（P22 参照）

## (2)表示



再生範囲：撮影された時間を変更して再生することができます。(P24 参照)

走行情報：ファイル名、日付、時刻等が表示されます。また、GPS ユニットの接続すると緯度、経度、速度、方向が表示されます。

マーカー：連続撮影時の衝撃発生や手動ポイントの再生 (P25 参照)

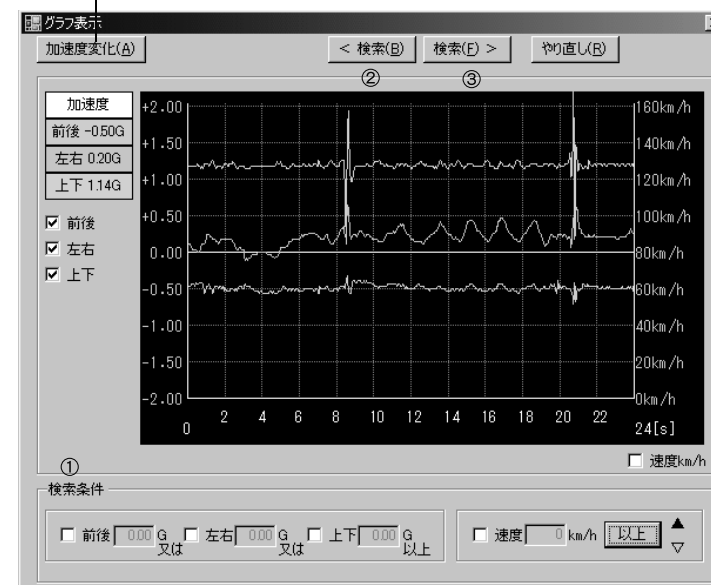
グラフ：詳細な加速度表示や速度が表示されます。また、加速度や速度による検索も可能です。(P30 参照)

拡大：画面サイズの変更  
QVGA を VGA に拡大します。

## ・グラフ表示 / 検索

このボタンを押す度に加速度、加速度変化のグラフが表示されます。

※加速度は  $1G=9.8m/sec^2$  で定義して、加速度変化は 0.7 秒間の変化量 (最大値-最小値) を意味します。

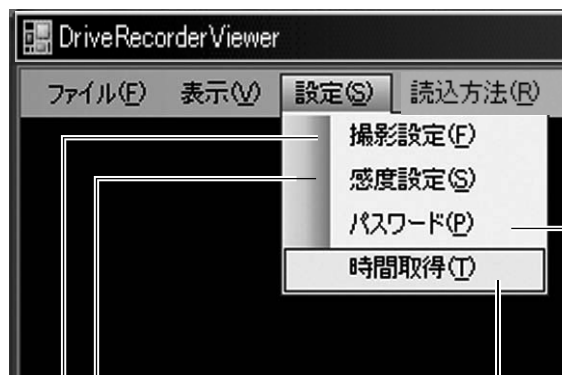


### 検索方法

- ① 検索したい項目にチェックを入れ、条件を入力してください。
- ② < 検索(B) をクリックすると現時点より前で条件を満たす画像にジャンプします。
- ③ 検索(F) > をクリックすると現時点より後の条件を満たす画像にジャンプします。



### (3)設定



感度設定：トリガ撮影または連続撮影  
マークポイント記録するた  
めの衝撃感度の設定。  
(P32 参照)

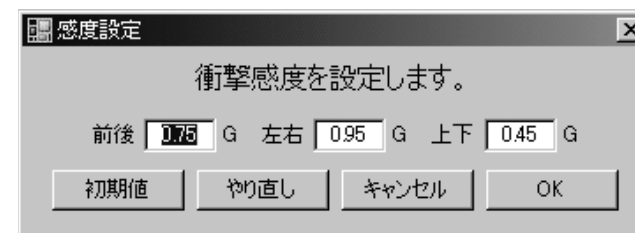
撮影設定：撮影モード、画面サイズ、  
フレームレートを設定。  
(P18 参照)

時間取得：パソコンのシステム時間を  
取得して、本体の時計を合  
わせます。(P12 参照)

パスワード：パスワードを  
設定。  
本体にパスワ  
ードを読み込  
ませると、以  
後パスワード  
を入力しないと記録映像を  
再生できませ  
ん。  
(P33 参照)

### ・感度設定

トリガ撮影または連続撮影マークポイント記録するための衝撃感度の設定ができます。敏感に反応しすぎるときは、初期設定値以上の数値に変更してください。逆に鈍いときは、初期設定値以下の数値に変更してください。0.01 から 3.00G まで 0.01G 単位で設定が可能です。設定後 OK ボタンをクリックしてください。設定した SD カードを本体に挿入すると自動的に感度を変更されます。



## ・パスワードの設定

パスワードを設定をすることにより以後パスワードを入力しないと記録映像の再生等ができません。

### ご注意

- ・パスワードは忘れないようにしてください。設定したパスワードが違うと記録映像を再生したり、クリアすることができません。
- ・パスワードを設定すると今までの保存画像は消去されます。(メッセージ画面が出ます) 消去したくない場合は事前に映像ファイルを別保存することをお勧めします。
- ・パスワードを設定するとモニターTVでSDカードでの再生はできません。

### 設定方法

①メニューの [設定] [パスワード (P)] を選択します。

②パスワードを入力します。

パスワード設定画面がでますので、パスワードを入力します。

※英数半角で 20 文字まで入力できます。

※パスワードの再入力をしてください。

※車両番号入力は任意です。英数半角 20 文字まで入力できます。



③“OK” ボタンをクリックして設定を確定します。

④設定後、パソコンから SD カードを抜きます。

⑤本体の MODE(◀▶) ボタンを長押しして再生モードにします。“ピー” とアラーム音が短く鳴り、ランプが黄色で点滅します。モニター TV が接続してある場合はリアルタイム映像が出ます。

⑥SD カードを本体に挿入します。

モニター TV が接続してある場合 TV 画面は下記ようになります。

- ・本体にパスワードが設定していない場合：ブルー画面 (パスワードをクリアする場合はこの画面にはなりません)
- ・既にパスワードが設定してある場合：レッド画面

⑦パスワードの読み込み

本体の電源 (P/O) ボタンと MODE(◀▶) ボタンを同時に長押しするとパスワードが本体に読み込まれます。このときアラーム音が“ピー” と鳴ります。モニター TV が接続してあると TV の画面は下記のように変わります。

- ・パスワードの読み込みが成功した場合：レッド画面 (パスワードのクリアが成功した場合はブルー画面になります)

⑧MODE(◀▶) ボタンを長押しして撮影モードにします。

### ご注意

- ・SDカードを挿入してから再生モードにするとパスワードの読み込みはできません。間違えた場合は最初からやり直してください。

### パスワード設定時の映像確認

パスワード設定された記録映像を再生等するときはパスワード要求画面が出ますので、パスワードを入力して“OK” ボタンを押してください。

### パスワードのクリア

パスワードをクリアをする場合は、設定方法①～⑧の操作を行ってください。その際、②で入力するパスワードは元のパスワードを入れてください。車両番号も設定している場合は元の車両番号を入れてください。

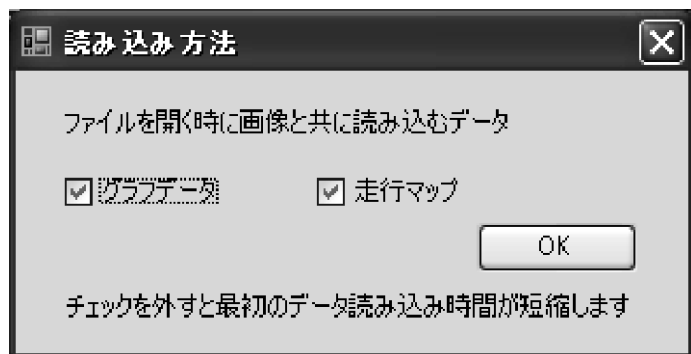
同一のパスワード、車両番号を再設定することによりパスワードのクリアを行います。

### パスワードの再設定

上記パスワードのクリアを行った後、設定方法①～⑧の操作を行ってください。

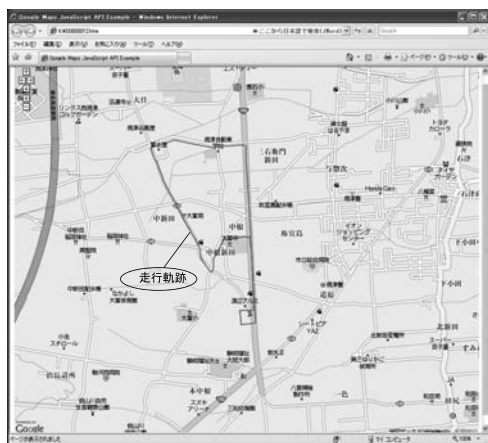
#### (4) 読込方法

- ・ ファイルを開く前にメニューの“読込方法”を選択し、チェックを外すと読込時間が短縮されます。



#### (5) 走行マップ

- ・ 別売の GPS ユニートを接続すれば、選択された映像の走行軌跡を Google Map 上に表示することができます。但し、インターネットの接続が必要です。

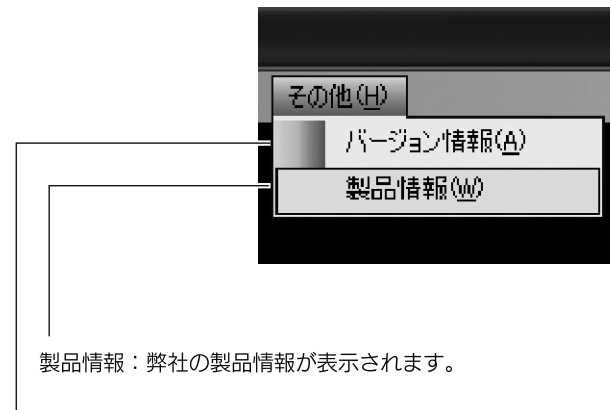


#### ご注意

- ・ GPS測位していない時は走行軌跡は表示されません。
- ・ インターネット接続料金などの通信費はお客様ご負担となります。
- ・ Google Map (グーグルマップ) はGoogle Inc.の商標登録です。

#### (6) その他

- ・ 弊社のホームページが表示されます。但し、インターネットの接続が必要です。



バージョン情報：本製品のバージョン情報。

## その他設定

### 特定アラーム音の ON/OFF 設定

#### 設定方法

1. 本体の“MODE” ボタンを短く押す度に特定アラーム音のON/OFF を設定することができます。

	特定アラーム音	連続撮影		トリガ撮影	
		SD カードあり	SD カードなし	SD カードあり	SD カードなし
衝撃	ON	“ピピピ”	“ピー”	“ピッピッピッ” “ピー”	“ピー”
	OFF (お買い上げ時)	無音	無音	無音	無音
手動	ON	“ピッ”	“ピー”	“ピッピッピッ”... “ピー”	“ピー”
	OFF (お買い上げ時)	“ピッ”	“ピー”	“ピッ”	“ピー”

設定モード	設定時の音
ON	“ピッ”
OFF	無音 (お買い上げ時の設定)

### SD カード上の映像の保存と消去

#### ■映像を保存する場合

1. P11 4. (2) メニューバーの「編集」から「すべて選択」を選択します。
2. 次に「編集」から「コピー」を選択します。
3. 保存先フォルダ (保存のフォルダを作成しておくとう便利です) を開きます。
4. メニューバーの「編集」から「貼り付け」を選択してコピーします。

#### ■映像を消去する場合

1. P11 4. (2) メニューバーの「編集」から「すべて選択」を選択します。
2. 次に「編集」から「削除」を選択します。  
(映像フォルダの一部消去はできません)

## 注意事項

- パソコン本体のカードスロットではSDカードを認識しない場合があります。その場合は外部にカードリーダーを接続してください。また、カードスロットはSDHC対応であることを確認してください。
- SDカードには寿命があります。再生映像に乱れが発生するようになった場合は新しいSDカードを購入してください。SDカードによっては動作しない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。
- LED式信号機は高速で点滅している為、記録映像では点滅したり消灯しているように見える場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の状態から判断してください。LED式信号が映らない件については弊社は一切責任を負いません。

## 8.故障とお考えになる前に

症状	原因
・電源が入らない	●カー電源コードがDCI Nジャックにしっかり接続されていない。 →カー電源コードをDCI Nジャックにしっかり接続してください。 ●カー電源コードが車のシガーライターソケットにしっかり接続されていない。 →カー電源コードを車のシガーライターソケットにしっかり接続してください。 ●カー電源コード先端に入っているヒューズが切れていませんか？ →新しいヒューズ（1A）と交換してください。
・映像が記録できない	●衝撃が大きすぎて電源が切断されると撮影されない場合があります。 ●SDカードが装着されていない。カードを本体に挿入してください。 ●SDカードのライトプロテクトがONになっていると“ピー”とアラーム音が鳴り続けます。→OFFにして書き込み可能にしてください。 ●SDカードに異常があると“ピー”とアラーム音が約10秒間鳴り続け、映像記録ができなくなります。その場合はパソコンでSDカードをフォーマットしてから本体に挿入してください。
・映像の視野がズれる	●カメラ角度等、再度、調節してください。

## 9.主な仕様

●撮像素子	30万画素 CMOSカラーイメージセンサー
●フレームレート	2/5/10/15フレーム/sec(切り替え可能)
●最低被写体照度	2LUX
●画角	90° (水平)
●画像サイズ	VGA(640×480)またはQVGA(320×240)
●衝撃感度	0.01~3.00G
●撮影トリガ	衝撃発生または手動ボタン
●音声録音機能	8bit、13.18kHzサンプリング
●映像記録媒体	SDカード
●パソコン動作環境	WindowsXP/Vista (SDカードまたはMMCカード対応) モニタ最低解像度:1024×768以上
●電源電圧	DC12/24V
●外形サイズ	55(W)×65.5(H)×28(D)mm 取付ステー含まず
●質量	約66g

## ●保証規定

- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
  - (イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
  - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷。
  - (ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の異常電源(電圧、周波数)及びその他天災地変による故障および損傷。
  - (ニ)保証書のご提示がない場合。
  - (ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は、日本国内において有効です。

## ■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。  
保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。
  - 保証期間中は：  
保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
  - 保証期間が過ぎているときは：  
お買い求めの販売店にご相談ください。  
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- あらかじめご承知いただきたいこと  
修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただきますことがあります。  
また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご承知ください。
- 商品についてのお問い合わせは  
マルハマサービス      フリーダイヤル      0120-08-1114  
携帯電話よりおかけの方は      TEL      045-251-2687  
営業時間:月～金 9:00～12:00/13:00～18:00(土日祝・当社指定日を除く)

# 保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	防犯・車両事故記録カメラ ロードビューアリエス <b>DR-850RV</b>	
保証期間	※ お買い上げ年月日	<b>1 年間</b>
	年 月 日から	
※お客様	住所	〒 電話
	氏名	<b>様</b>
※販売店	氏名	Ⓜ
	住所	〒 電話

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4丁目43番地4